



2024年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年3月14日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
コード番号 3418 URL https://www.balnibarbi.com
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤 裕久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 宮下 大輔 TEL 06-4390-6544
四半期報告書提出予定日 2024年3月15日 配当支払開始予定日 2024年4月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第2四半期の連結業績（2023年8月1日～2024年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	6,547	△7.0	277	△70.9	281	△70.2	328	△48.7
2023年7月期第2四半期	7,040	44.3	956	—	945	26.8	641	34.1

(注) 包括利益 2024年7月期第2四半期 330百万円 (△48.6%) 2023年7月期第2四半期 642百万円 (34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第2四半期	37.14	—
2023年7月期第2四半期	72.39	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期第2四半期	9,291	3,240	33.5	351.87
2023年7月期	8,826	2,976	32.3	322.22

(参考) 自己資本 2024年7月期第2四半期 3,116百万円 2023年7月期 2,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	2.50	—	7.50	10.00
2024年7月期	—	2.50	—	—	—
2024年7月期（予想）	—	—	—	5.00	7.50

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,018	△2.6	753	△35.1	742	△32.4	513	△23.8	57.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）株式会社アスリート食堂

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期2Q	9,023,880株	2023年7月期	9,023,880株
② 期末自己株式数	2024年7月期2Q	167,405株	2023年7月期	167,405株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期2Q	8,856,475株	2023年7月期2Q	8,856,475株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手について）

当社は2024年3月21日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の四半期決算補足説明資料は開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は弱まり、国内における行動制限の緩和や海外から入国制限緩和により経済活動は正常化に向かう動きがみられた一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、円安等に起因して物価が上昇する等、先行きは依然として不透明な状況であります。外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限からの脱却やインバウンド需要の増加などにより、来店客数に回復の動きがみられましたが、物価上昇や働き手の不足等により厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、従来の「レストラン事業」におけるバッドロケーション戦略での出店で培ったノウハウや知見をもとに、食をベースに総合的なエリア開発を行うことで活性化した不動産の流動化により新たな収益を見込む「エステートビルドアップ事業」を2つ目の成長戦略の柱とし、「食から始まる日本創再生」に取り組んでおります。

レストラン事業においては、ニューノーマルのライフスタイルにおける新しい外食時間として、時間の概念にとらわれず楽しんで頂けるメニューの提案や空間づくりに取り組むと共に、顧客体験の向上と収益の最大化を目指し、既存店の再構築を進めております。2023年8月に再編した店舗運営子会社を中心に、その店舗のマーケットや環境に適したきめ細やかなサービス内容の拡充や価格帯の見直し、業態変更等を含む総合的なアプローチなどにより、お客様の潜在的なニーズに応えることで付加価値を高め、市場競争力の一層の強化を図るべく、グループ一丸となって取り組みを行っております。また定期的なメニューの見直しやサービスの改善を行うことで、お客様により満足度の高い体験を提供することを目指すことにより、多くのお客様に喜んでいただける環境を整備し、成長戦略の一環として、今後のレストラン事業拡大を見据えています。また行政・自治体からの出店要請は引き続き強いニーズがあると考えられ、出店エリアを厳選したうえで新規出店に伴う運営体制の構築に取り組んでおります。

エステートビルドアップ事業においては淡路島北西海岸を舞台に展開する食を通じた地方創生プロジェクト「Frogs FARM ATMOSPHERE」におきまして、飲食店、宿泊施設の展開等、現在17施設を展開しており、地域の皆さまや賛同者との協業を推進しております。また廃校をリノベーションし雇用の創出、定住人口・交流人口の増加、地元交流を目的にした「SAKIA」につきましては地域資源を活用した官民連携サテライトオフィス拠点整備事業に参画し、今春に向け改装計画を進行中です。島根県出雲市西海岸における観光、二拠点ライフ、移住を見据えた地方創生プロジェクト「WINDY FARM ATMOSPHERE」につきましては、レストラン、宿泊施設の運営を強化すると共に、パーキングエリアを活用したアウトドアスタイルのウェディングプランの構築など様々な施策に取り組んでおります。現在、開発エリアを拡大するための準備を実施しておりますが、より多様な施設やサービスを提供できるよう、自治体や地域企業と連携しながら地方創生の取り組みを推進いたします。

また株主の皆さまに適正な利益還元を行うこと及び当社サービスをご利用いただきより理解を深めていただくことを目的として、株主優待制度の拡充及び電子化を2023年7月末基準日より導入いたしました。株主優待制度の電子化につきましては株主様の利便性の向上を図るとともに、当社の事務効率化やコストの抑制につながり、株主様への更なる還元が可能となると考えております。

当第2四半期連結累計期間における当社及び連結子会社の店舗の増減といたしましては、レストラン事業のバッドロケーションデベロッパーにおいて3店舗をクローズ、大学・その他において2店舗を期間限定オープン、1店舗をクローズし、当第2四半期連結会計期間末における当社グループの運営する店舗数は94店舗となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,547,495千円（前年同四半期比7.0%減）、営業利益は277,856千円（前年同四半期比70.9%減）、経常利益は281,631千円（前年同四半期比70.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は328,971千円（前年同四半期比48.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

① レストラン事業

店舗運営におきましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かい店舗運営に取り組み、ビアガーデンやバーベキュー、こたつテラス等季節に応じた店舗運営、営業企画やイベントの立案に加え、中食需要の高まりから店舗外商品の販売強化目的にECサイトの充実など、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを実施しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,871,638千円（前年同四半期比14.5%増）となり、セグメント利益は186,355千円（前年同四半期はセグメント損失166,120千円）となりました。

(a) バッドロケーション

バッドロケーション戦略におきましては、大型・複合型物件の開発を進める一方で、行政や大手デベロッパーとの連携により様々なソーシャルプロジェクトなどへ参画を行うことで、食をベースに複合的な店舗開発を推進しております。また引き続きバッドロケーション戦略の店舗の運営安定化を目的に不動産定期借家契約による退店リスクのある物件につきましては土地、建物、借地権取得など不動産保有を推進し店舗運営の安定化による収益性確保、不動産価値向上による財務体質の改善に努めております。2023年12月には東京都台東区の複合商業施設「ミラー」の譲渡に伴い、同ビル内にて運営しておりました「シエロイリオ」、「リバヨン」、「プリバード」をクローズしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末におけるバッドロケーション戦略の店舗数は、関東地区17店舗、関西地区7店舗、その他地域2店舗の計26店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,802,432千円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

(b) 不動産デベロッパー

不動産デベロッパー戦略におきましては、好立地、特別な店舗家賃での誘致や初期投資の軽減など好条件での物件獲得を行うことができ、売上規模、収益性、話題性の高い物件を選定することで社の個性を活かした店舗開発を推進しております。2023年8月には大阪市北区のグランフロント北館6階ウメキタフロアにおいて「ノーストランク」をオープン、業務委託契約満了に伴い1店舗をクローズしております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における不動産デベロッパー戦略の店舗数は、関東地区18店舗、関西地区13店舗、その他地域2店舗の計33店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,629,612千円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

(c) 行政・公共機関

行政・公共機関戦略におきましては、新たな地方自治体との取り組みにおいて、その街ならではのオリジナルな業態の開発、地域活性化イベントの開催などを行い、地方創生ネットワークの形成を推進しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における行政・公共機関戦略の店舗数は、関西地区11店舗、その他地域1店舗の計12店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,016,312千円（前年同四半期比20.1%増）となりました。

(d) 大学・その他

大学・その他戦略におきましては、学生のみならず近隣住民へのターゲット層の拡大及びコストコントロールによる収益性改善を進めております。また、顧客の消費動向の変化により拡大した中食需要の取り込みを目的とした通販サイト「CANDLE TABLE」の展開等、顧客満足度の向上と収益性を安定させる取り組みを行っております。2023年12月には冬季期間限定店舗として新潟県魚沼郡のかぐらスキー場に「ぶなキッチン」「スープステーション田代」をオープン、長野県北安曇郡のつがいけマウンテンリゾートに「瀬戸内淡路島 中華そばのうえ」をオープン、2024年1月には契約満了に伴い「ムー ガーデンテラス」をクローズしております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における大学・その他戦略の店舗数は、関東地区1店舗、関西地区3店舗、その他地域2店舗の計6店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高170,404千円（前年同四半期比2.3%増）となりました。

(e) その他の事業

その他の事業は、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当第2四半期連結累計期間における売上高は119,505千円（前年同四半期比8.7%減）となりました。

② エステートビルドアップ事業

当社グループでは、兵庫県淡路島における食をベースとした地方創生プロジェクト「Frogs FARM ATMOSPHERE」を筆頭に、島根県出雲市西海岸「WINDY FARM ATMOSPHERE」に取り組むことで、地方創生ネットワークの形成を推進しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末におけるエステートビルドアップ事業の店舗数は関西地区12店舗、その他地域5店舗の計17店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は809,228千円（前年同四半期比59.2%減）となり、セグメント利益は91,501千円（前年同四半期比91.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

現金及び預金の増加375,445千円、売掛金の減少138,441千円、販売用不動産の増加160,754千円及び未収還付法人税等の減少194,251千円等により、総資産は前連結会計年度末に比べ465,772千円増加し9,291,954千円となりました。

(負債)

買掛金の減少124,537千円、短期借入金の増加1,089,484千円、未払法人税等の減少195,324千円及び長期借入金の減少353,050千円等により、負債は前連結会計年度末に比べ202,138千円増加し6,051,509千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、263,634千円増加し、3,240,445千円となりました。これは主に利益剰余金の増加262,548千円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ375,445千円増加し、1,910,927千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は105,621千円（前年同四半期は684,590千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益280,110千円、減価償却費203,401千円、販売用不動産の増加額184,415千円、未払金の減少額93,415千円及び法人税等の支払額207,435千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は340,757千円（前年同四半期は143,191千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出322,598千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は610,389千円（前年同四半期は549,248千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額1,089,484千円、長期借入れによる収入69,000千円及び長期借入金の返済による支出460,591千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年9月14日の「2023年7月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,585,482	1,960,927
売掛金	619,604	481,163
商品及び製品	166,025	177,104
原材料及び貯蔵品	33,080	33,092
販売用不動産	2,002,753	2,163,507
未収還付法人税等	194,510	258
未収消費税等	4,735	2,218
その他	238,917	228,739
流動資産合計	4,845,109	5,047,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,104,227	1,174,119
機械装置及び運搬具(純額)	35,942	36,076
工具、器具及び備品(純額)	486,885	522,232
土地	488,058	488,332
リース資産(純額)	25,357	16,545
建設仮勘定	61,631	143,921
有形固定資産合計	2,202,103	2,381,226
無形固定資産		
借地権	329,558	320,990
その他	14,587	19,119
無形固定資産合計	344,146	340,110
投資その他の資産		
投資有価証券	173,450	172,813
差入保証金	676,206	669,814
繰延税金資産	551,447	636,766
その他	33,719	44,209
投資その他の資産合計	1,434,822	1,523,605
固定資産合計	3,981,072	4,244,942
資産合計	8,826,181	9,291,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,337	206,800
短期借入金	—	1,089,484
1年内返済予定の長期借入金	929,653	891,111
リース債務	37,231	25,605
未払金	627,602	534,186
未払法人税等	249,525	54,200
未払消費税等	193,006	144,545
賞与引当金	4,370	5,064
資産除去債務	13,531	13,531
その他	180,393	159,567
流動負債合計	2,566,651	3,124,097
固定負債		
長期借入金	2,505,613	2,152,562
リース債務	16,524	7,213
資産除去債務	658,932	666,471
繰延税金負債	1,583	—
その他	100,063	101,164
固定負債合計	3,282,718	2,927,411
負債合計	5,849,370	6,051,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,825	466,825
資本剰余金	815,088	815,088
利益剰余金	1,744,420	2,006,968
自己株式	△172,596	△172,596
株主資本合計	2,853,737	3,116,285
非支配株主持分	123,073	124,159
純資産合計	2,976,811	3,240,445
負債純資産合計	8,826,181	9,291,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
売上高	7,040,285	6,547,495
売上原価	2,009,576	1,756,365
売上総利益	5,030,708	4,791,130
販売費及び一般管理費	4,074,636	4,513,273
営業利益	956,072	277,856
営業外収益		
受取利息	206	246
受取保険金	4,717	19,753
消費税差額	3,186	—
助成金収入	11,172	200
その他	4,361	7,424
営業外収益合計	23,643	27,623
営業外費用		
支払利息	7,859	11,831
シンジケートローン手数料	15,419	1,333
支払手数料	7,500	5,000
持分法による投資損失	—	636
その他	3,892	5,047
営業外費用合計	34,671	23,848
経常利益	945,044	281,631
特別利益		
固定資産売却益	3,425	—
特別利益合計	3,425	—
特別損失		
固定資産除却損	439	1,521
特別損失合計	439	1,521
税金等調整前四半期純利益	948,030	280,110
法人税、住民税及び事業税	222,230	36,955
法人税等調整額	83,604	△86,903
法人税等合計	305,834	△49,947
四半期純利益	642,196	330,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,084	1,086
親会社株主に帰属する四半期純利益	641,111	328,971

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	642,196	330,057
四半期包括利益	642,196	330,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	641,111	328,971
非支配株主に係る四半期包括利益	1,084	1,086

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	948,030	280,110
減価償却費	171,989	203,401
固定資産売却益	△3,425	—
支払利息	7,859	11,831
持分法による投資損益 (△は益)	—	636
売上債権の増減額 (△は増加)	56,498	138,441
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△26,721	△11,091
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△125,578	△184,415
仕入債務の増減額 (△は減少)	△75,975	△124,537
未払金の増減額 (△は減少)	△119,756	△93,415
未払費用の増減額 (△は減少)	11,095	△20,362
預り金の増減額 (△は減少)	15,146	△16,789
未払消費税等の増減額 (△は減少)	41,367	△48,461
未収消費税等の増減額 (△は増加)	58,859	2,517
助成金収入	△11,172	△200
その他	△7,545	△7,069
小計	940,671	130,595
利息及び配当金の受取額	206	246
利息の支払額	△8,013	△12,495
助成金の受取額	15,730	200
補助金の受取額	60,000	—
法人税等の還付額	51,845	194,510
法人税等の支払額	△375,849	△207,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	684,590	105,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△156,844	△322,598
有形固定資産の売却による収入	23,543	5,157
無形固定資産の取得による支出	△3,148	△7,766
差入保証金の回収による収入	2,356	7,173
差入保証金の差入による支出	△5,088	△601
資産除去債務の履行による支出	△4,491	△10,798
その他	480	△11,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,191	△340,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△31,537	△21,079
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	1,089,484
長期借入れによる収入	216,000	69,000
長期借入金の返済による支出	△389,429	△460,591
配当金の支払額	△44,282	△66,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△549,248	610,389
現金及び現金同等物に係る換算差額	232	192
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,617	375,445
現金及び現金同等物の期首残高	2,681,246	1,535,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,673,629	1,910,927

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年8月1日至2023年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	2,498,200	1,393,300	3,891,500	—	3,891,500
関西	2,139,248	592,406	2,731,655	—	2,731,655
その他	355,172	—	355,172	—	355,172
顧客との契約から生じる収益	4,992,621	1,985,706	6,978,328	—	6,978,328
その他の収益	61,957	—	61,957	—	61,957
外部顧客への売上高	5,054,578	1,985,706	7,040,285	—	7,040,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	73,161	—	73,161	△73,161	—
計	5,127,740	1,985,706	7,113,447	△73,161	7,040,285
セグメント利益又は損失(△)	△166,120	1,122,192	956,072	—	956,072

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年8月1日至2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	レストラン事業	エステート ビルドアップ 事業	合計		
売上高					
関東	2,737,616	—	2,737,616	—	2,737,616
関西	2,488,638	641,640	3,130,279	—	3,130,279
その他	437,099	167,587	604,687	—	604,687
顧客との契約から生じる収益	5,663,355	809,228	6,472,583	—	6,472,583
その他の収益	74,912	—	74,912	—	74,912
外部顧客への売上高	5,738,267	809,228	6,547,495	—	6,547,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	133,370	—	133,370	△133,370	—
計	5,871,638	809,228	6,680,866	△133,370	6,547,495
セグメント利益	186,355	91,501	277,856	—	277,856

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。